

飛行機の事故

大森 海太

昨年正月、羽田に日航機が着陸するところへ、横の滑走路から海上保安庁の飛行機が離陸のため進入して激突、両機は炎上した。大惨事になるところだったが、機内乗務員の機敏な誘導により短時間で三百数十人全員が無事脱出、まさに奇跡的な出来事だったといわれる。日頃の訓練のたまものであるう。

年末には韓国のチエジュ航空機が、全羅南道の飛行場で着陸に失敗してフェンスに衝突し、乗員乗客のほとんどが亡くなった。バードストライクによって着陸用の車輪が作動せず、胴体着陸を試みた結果らしい。

当地は鳥の多いところのようで、それならばエンジンの前に鳥除けのネットでも張っておけばと思うが、そんな簡単なものではないのだろう。

年が明けて今度はアメリカのワシントン空港で、着陸寸前の旅客機と陸軍のヘリコプターが衝突してポトマック川に墜落、数十人が犠牲になったとのこと。

同空港は私も行ったことがあるが、近くにホワイトハウスや政府関係諸施設が密集しているところだ。アメリカは広いのだから、なにもそんなところでヘリの訓練をしなくてもよさそうなものだが。

さて毎度のことながら、寅さんにはビックリさせられる。事故の原因はバイデンの多様化政策によるものというのだ。そういえばロスの山火事も民主党知事のせいだとか。なんでもかんでも自分に都合のよい理屈を作りだしてしまう。

ところで私は現役時代から、飛行機を利用して世界中の様々なところに行った。数年前ゴルフで台湾に飛んだのが最後で、その後はコロナもありトシもとったし、もう乗ることはないだろう。幸いこれまで怖い目に遭ったことは一度もなかった。

余談になるが、ヘリコプターには二度乗った。ブラジルでイグアスの滝見物と、南アフリカ、ヨハネスブルグ近郊の露天掘り視察だ。滝つぼや石炭採掘現場のすぐそばまで降下して迫力満点だったが、乗り物としては正直言ってあまり気持ちの良いものではない。でもこれまた幸い何事もなくてすんだ。